実践記録

「志津里山自然学校」プログラム③
「みんなで伐採にチャレンジ！」

実施日	活動場所	参加者	講師	スタッフ
2022.10.16 10:10～15:00	馬場町　奥村様所有里山	21名	フォレスクラブ 井阪尚司先生	13名（まち協2名　まちセン2名 フォレストクラブ7名　市2名）

活動の趣旨説明等　10:10～10:17

司会・進行・・水野（市）

1.「志津里山自然学校」山元校長の挨拶（山元様）

2. スタッフ紹介（自己紹介）

3. 諸注意（初田様・水野）　※伐採に伴う危険と対策について



山元校長のあいさつ

生物多様性の視点から伐採の意義を学ぶ　10:17～10:25

講師　井阪尚司先生

ねらい　生物多様性の基本的なことや伐採の意義を知る。

生物多様性の学び　生物多様性の基本的なことを知る。

資料（10 枚）を提示しながら以下のことについて説明

①生きているものは子どもを残す　②植物がないと人間（動物）は生きていけない

③植物はすごいぞ　そのヒミツ　④一番長生きできるのは植物

⑤豊かな自然とは？

➡生物がたくさんすんでいるところ【多様な生き物が生息・生育】

生き物がすみやすいところ【伐採など適切な管理が必要→生物多様性を守る】

生きるためのチエ・くふう【生き物が関わり合って生きている】

⑥生き物が心配なこと【人間生活との関わり】



いろんな生き物がいるよ

チェーンソーによるヒノキの伐採見学　10:45～11:20

講師　初田勝彦先生　他5名（アイ・フォレスクラブ）

①伐採方法と安全対策について

②質問タイム

③伐採見学　※大木が切り倒される瞬間を目の当たりにした子供や大人の感動

袋の中にある物は何かな？

伐採したヒノキの観察とクイズ　11:25～

講師　井阪尚司先生　初田勝彦先生

①伐採した切り株表面を見せながら本日の伐採を評価（初田先生）

②切り株表面の観察　※興味深く観察したり質問したりする姿が見られた。

③井阪先生からクイズ→子供たちから発表→初田先生の解説

クイズ（例）・・樹齢の数え方　栄養の取り方　方角の見つけ方

※初田先生の説明は子どもたちに分かりやすく、興味をそそる話し方であった。

里山への思いを語る校長

昼食・枝運び　11:45～12:50

①昼食（約35分）

②枝運び（約30分）　急遽、「ふれあい広場」で活用する枝を奥村邸裏庭まで運ぶ。

振り返り　15:10～15:25

今日一日の活動を振り返り、アンケート用紙に記入する。（以下感想例）

質問1　一番楽しかったこと・心に残ったことは？

「初めてルーペで見た虫や木の葉、木の枝が拡大されて不思議な感覚をあじわった。」

「森の小道のプランを考えることが楽しかった。」

質問2　新しい発見・初めて知ったことは？

「ルーペでいろいろなものを見つけたこと。」

「森のデザインの難しさと、見る方向によって森の見え方が違うこと。」

質問3　その他、思ったことなどは？

「森が涼しく居心地よかった。リフレッシュできた。」

「自分たちが里山づくり数十年計画のスタートをしたこと。そして将来この道の計画を自分たちがしたと自慢する。」

「人と生き物がそれぞれ集まれるような里山がつくれたらうれしいですね。」

「子どもたちの考えに共感したり、ほめてくださったりしたことがよかったです。」

■参加者解散　15:30

各自で馬場町会館へ移動

■スタッフ反省会

今回は5月31日（火）に実施

■本実践の評価は別紙参照

別紙　令和4年度「志津里山自然学校」プログラム①「森に小道をつくろう」の評価

「こんな里山にしたいな」



考えの発表・交流



今日一日の振り返り